

茶碗作り」を開き、28組68人が参加した。

JAは、管内の小学生親子を対象に、農業体験や食農教育を通じて食の大切さや農業への理解を深めてもらうことを目的に、年間を通して「あぐりスクール」を開いている。

本年度第3回の授業となるこの日は、陶芸家の荏司武臣さんを講師に招き、茶わんを作った。参加児童らは、もとななる粘土の形を整え、思い思いの大きさに成形。木べらなどを使って模様を描き入れた。

参加した児童は「早く自分で作った茶わんでご飯を食べたい」と話した。

今回作った茶わん焼き上げ、10月ごろに児童に渡す。担当者は「9月には自分たちで

米作りにプラス
「ご飯茶わん作る
JA伊勢親子
あぐりスクール
【伊勢】JA伊勢は
7月下旬、JA管内の
小学生親子を対象に
「あぐりスクールmy



茶碗に絵を描き入れる参加親子

植えたお米を収穫する。作った茶わんを使ってご飯を食べて、お米を好きになってほしい」と話す。